


学会成果報告書

学会名	第 25 回日本腎不全看護学会学術集会		
大会長所属	ホスピールグループ腎透析事業部		
大会長氏名	宮下 美子		
テーマ	支え合うケア～シームレスな連携～		
開催日	現地開催 2022 年 10 月 15 日 16 日	参加人数	2,043 名
	オンデマンド配信 10 月 14 日～11 月 24 日		
場所	名古屋国際会議場		
<p>学会サマリー</p> <p>第 25 回日本腎不全看護学会学術集会は COVID-19 の影響を受け、現地開催とともに LIVE 配信ならびにオンデマンド配信のハイブリッド開催としました。現地参加者は 862 名、LIVE 視聴は延べ 6,084 名で、オンデマンド配信は延べ 12,913 件の視聴がありました。参加登録者数 1906 名、主催関係者ならびに企業関係者を含め計 2,043 名の参加となりました。</p> <p>メインテーマを「支え合うケア～シームレスな連携～」とし、2040 年問題が想定される社会の中で私達腎不全看護師は透析患者・家族のために誰とどのように連携して行く必要があるのか、学び、検討し、今後への示唆を得られるような企画を立てました。現地開催では、特別講演 1・2、教育講演 1～4、シンポジウム 1・2、ワークショップ 1～3、大会長企画 1・2、共同企画 1・2、交流集会など主要セッション、大会長賞口演を行いました。腎不全看護に関連する医療、慢性疾患看護、サイコネフロロジー看護、在宅医療・介護、感染症、災害、腎代替療法など専門家やその領域に特化した看護、福祉、介護系の方達に登壇していただき、現状や今後の課題など講演していただきました。質疑も活発で LIVE 視聴者からの質問もあり、実りある会となりました。オンデマンド配信視聴件数が多いことから、企画したセッションが多く腎不全看護師の興味関心の高い内容だったと考えます。</p> <p>大会長賞口演は、一般演題から選出された 9 演題のみ現地発表しました。日々取り組んでいる看護実践に根付いた研究として発表・質疑があり、今後の腎不全看護の質向上につながったと考えております。</p> <p>今回ハイブリッド開催のため通常より開催費用が高額になりましたが、収支が黒字になった要因は、企業協賛がランチョンセミナーやスイーツセミナーなど大口枠が未達であったにもかかわらず目標より約 38 万円のマイナスで済んだこと、寄付金・助成金が目標より約 100 万円多く集まったこと、参加者が確保できたことであると思います。企画運営、企業協賛・寄付依頼に携わった委員一同の成功に向ける思いと行動力によるものと考えます。</p> <p>今後も本学会の発展に尽力し、看護だけに留まらず慢性腎臓病・腎不全領域の発展に力を尽くしたいと考えております。</p>			